

図画工作科題材構想シート（造形遊びをする活動）

題材名		対象学級	年 組	児童数	名
				担当者	

① 題材の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等

② 対象や事象を捉える造形的な視点 〔共通事項〕ア

形、形の感じ (形状、大きさ、長さ、形の柔らかさ)
色、色の感じ (明るさ、鮮やかさなど)
材料の性質 (触った感じ、硬さ、柔らかさ、量感)
表面の材質感 (冷たい、暖かい)
形や色の組合せによる感じ (色の組合せによる優しさ)
立体感、遠近感、奥行き感
動き (方向感、時間的な変化の動き、バランス)

③ 造形活動

並べる	置く	つなぐ	結ぶ	積む	乗せる
重ねる	かぶせる	丸める	ねじる	にぎる	あける
切る	やぶる	貼る	巻く	敷く	広げる
照らす	かざす	移す	入れる	混ぜる	吊るす
ひたる	もぐる	落とす	伸ばす	たらす	寝転ぶ
さす	立てる	包む	身に付ける	分ける	選ぶ

④ 児童の思いや活動(ウェビング)

⑤ 指導の手立て

--	--

図画工作科（造形遊びをする活動）の題材構想の手順

作成手順

① 学習指導要領の各学年の目標や内容を踏まえて「題材の目標」を作成する。

② 表面①の 題材の目標の「知識及び技能」の欄に記載されている**材料**や「思考力、判断力、表現力等」の欄に記載されている「**対象や事象**」(材料や作品、出来事など)を確認する。

表面②の「対象や事象を捉える造形的な視点」により、児童が直感的に対象の特徴を捉え、同時に自分なりのイメージをもちながら活動することを確認する。

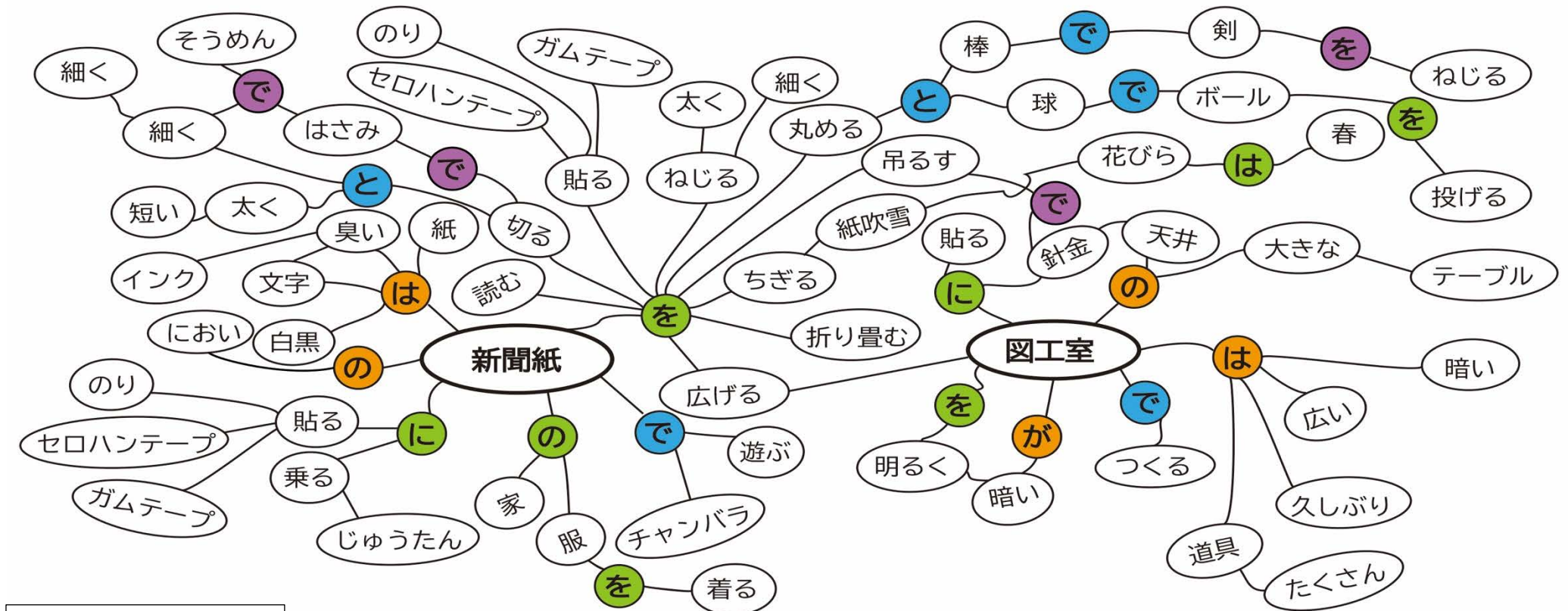
③ 表面①の題材の目標に記載されている「**材料や用具**」から予想される造形活動を表面③の表から確認する。その他、予想される造形活動や活動に必要な材料と用具を加えていく。

④ 目の前の児童の活動を想定しながら、材料やテーマといった対象や事象を中心に置いて、助詞を用いながら予想される児童の考えや活動などを書いていく。

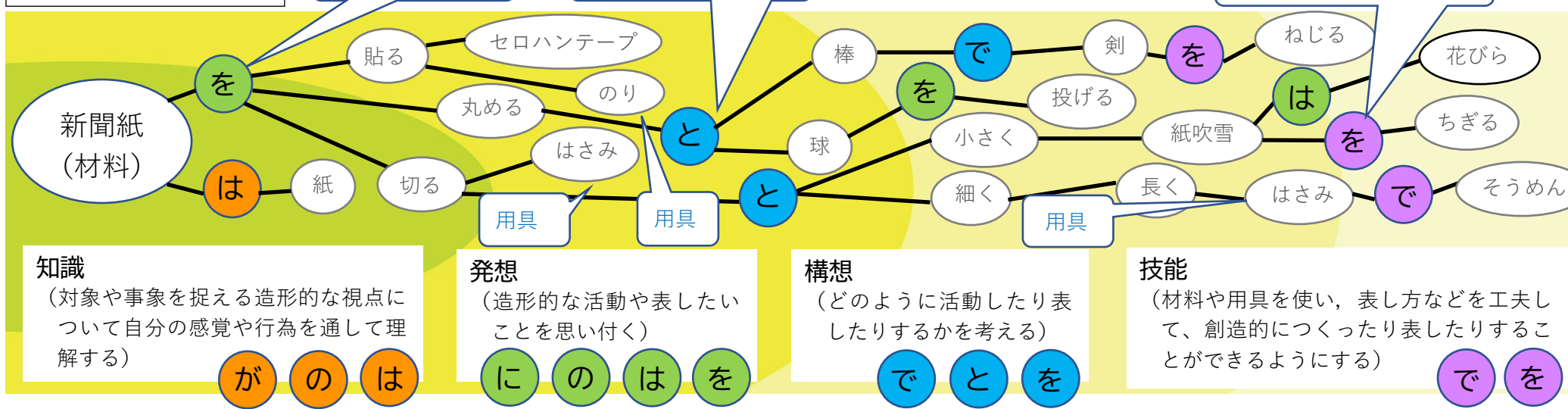
(発想や構想をしたり、材料や用具を使い、表し方を工夫したりしていく活動へとイメージを広げていくが、技能から発想することもあり、必ずしも一方向ではないことに留意する。)

⑤ 児童の考えや活動を関連付けた事柄の間に、児童の思いや活動を豊かに広がりのあるものにする「**問い**」としてどんな問いかけができるか表面の⑤指導の手立てに書き出す。また、児童の考えや活動を保障するために必要な環境(材料や用具、場所など)についても書き出す。

④ 児童の思いや活動を想定した例(ウェビング)



ウェビングから「問い」と「環境」の書き出し例



⑤ 問いの種類と具体例

種類	内容	具体的な発問例
状況・既習の確認 *1	活動の進み具合, 理解度, 過去の学習内容等を確認する	紙吹雪をどうやってつくったのかな
思考の促し *2	表現や取組について問いかけ考えさせる	新聞紙を使ってどんな活動ができますか
選択の投げかけ *3	選択肢を示して考えさせる	新聞紙を丸めると棒の形になるかな、それともボール(球)の形になるかな